



NPO法人 大谷石研究会

大谷石の魅力を全国のみなさんへお伝えする大谷石研究会の広報誌

NPO法人 大谷石研究会 創立10周年を迎えて

NPO法人 大谷石研究会
理事長 小野口順久

この度、NPO法人 大谷石研究会の創立10周年を迎えるにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

当研究会は、平成13年7月に、大谷石や大谷地域の良さを再認識して、大谷石産業の発展や観光の振興を計り、地域の活性化に貢献することを目的として設立した団体です。

当初は、3名の発起人により活動を開始し、設立時には、多岐に亘る職業の賛同者約40名を以って、任意のNPOとして発足しましたが、大谷石の建造物に興味を持ち、その価値を見出し、独特の景観や採掘場跡の地下空間に驚きや感動を覚えるなど、様々な大谷の良さを再発見しようとする仲間達が徐々に集まり、10年を経た今では、百名前後の会員を擁するNPO法人になりました。ここぞ十年間の歩みを顧みますと

第1期活動計画

大谷石の復権運動

(2002～2011年)

第2期活動計画

大谷地域の世界遺産への登録申請運動

(2012～2021年)

としました。そして初めの第1期10年間の具体的事業実績を逐年に振り返りますと

平成13年度は、大谷石と大谷地域のPR活動で、新聞、ラジオ、テレビ等のマスメディアへの働きかけを行いました。中でもNHK FMでの伊藤利光理事の「大谷石探検隊」(3

カ月間週1回放送)、高橋啓子事務局長による下野新聞、日曜論壇(6カ月間月1回掲載)への寄稿は特に目を引くものでした。

平成14年度は会員向け「大谷石会報」の創刊、平成16年度は広報誌「大谷石」創刊、年間2回各5千部を無償で配布中です。

本紙12号と東日本大震災特集の臨時号を発行、特に「旧大谷公会堂の移築、活用」についての市への要望書を3号、7号、11号へ掲載するなど、行政への取り組みもお知らせして参りました。加えてポストカード「大谷石のある風景」2千組の製作、発売をしました。

平成17年度は栃木県知事の認可を受けNPO法人となりました。

平成18年度は設立以来の集大成として7月1日に写真集「大谷石百選」の初版発行。現在初版第四刷累計5千冊を発売し、大成建設と財団法人栃木県建築士会から夫々高い評価を受け、多額の助成金を頂戴しました。

加えて、ポストカード第2弾として、「大谷石百選」の中から宇都宮市内に存在する建造物12点を選び2千組の製作、販売しています。

また毎年、各地へ見学会を実施し、特に「大谷石百選」掲載先の県内、桐生、足利、東京横浜などの建造物の実地見学会は有意義でありました。

第2期の今後10年間の展望を考える時、夢と希望に溢れる「世界遺産への登録申請運動」が果たして実現可能なかと熟慮する必要があります。

あります。昨今この種のハードルは極めて高くなり、特に重要なことは市民や大谷地域の住民のやる気、行政の積極的取り組みは不可欠な前提であり、改めて確認する必要があります。

そして今後更なる10年に向けて、会員皆様方の建設的ご意見や提言をいただき、大谷地区の発展に向けての活動指針といたく思っています。

最後になりましたが、この組織集団が、10周年を迎えることが出来た重要な要因は、

- 一、会員が多岐に亘る職業の人達の集団であり、接してみても魅力ある人が多いこと。
- 二、組織がよく機能していること。即ち総務、広報、企画渉外、専門部会の各委員会が役割分担を責任を持って全うしていること。
- 三、毎月の理事会の外、総会以外に年四回の全体会を実施、組織の活性化と会員相互の親睦を計っていることなどが挙げられます。

大谷石や大谷地域に関心をもち、興味を持つ新しい会員を心から歓迎しています。

